

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

農中 JAML リート投資法人（証券コード：ー）

【見通し変更】

長期発行体格付
格付の見通し

A +
安定的 → ポジティブ

■格付事由

- (1) 22 年 7 月に設立され、同年 9 月に運用を開始した非上場のオープン・エンド型投資法人。主として三大都市圏に所在するオフィス、商業施設、住宅及び物流施設等を投資対象とする総合型リートである。資産運用会社（AM）は農中 JAML 投資顧問で、スポンサーは農林中央金庫（農林中金、AM への出資比率：70%）、JA 三井リース（JAML、同：30%）及び JA 三井リース建物で構成されている。農林中金の資産運用ビジネス強化方針のもと、農林中金・JAML グループの投資力と運用力を最大限活用し、中長期的な安定収益の確保と運用資産の成長を目指している。現在のポートフォリオは 37 物件、取得価格総額は 1,022 億円となっている。
- (2) 増資を交えた物件取得の継続により、資産規模の拡大とポートフォリオの分散が着実に進展している。外部成長においては、農林中金の豊富なネットワークやソーシングルート、JAML グループの不動産開発力やブリッジ機能など多様なパイプラインサポートが活用され、JA 系統組織をはじめとする幅広い関係先とのリレーションも背景に、ポートフォリオ・キャッシュフローの安定性強化が進められている。賃貸事業運営については、運用開始以降、概ね高稼働率が維持されるなど堅調なトラックレコードを確認できる。また、保守的なレバレッジコントロールなど安定した財務運営が継続されている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しをポジティブに変更した。スポンサーグループとの強固な連携を軸としたポートフォリオマネジメントの動向や安定した財務運営の継続等を確認し、格付に反映させていく。
- (3) ポートフォリオ全体の稼働率は、26 年 5 月末で約 99%と安定した運営が行われている。一定割合を占める底地物件やシングルテナント物件では中長期の賃貸借契約が締結されており、稼働率の下振れリスクの緩和やキャッシュフローの安定化に寄与しているものとみられる。一方、賃料増額によるインフレ対応への取り組みも進められている。不動産投資・開発・運用事業における両スポンサーグループの総合力が、引き続き本投資法人の成長と安定した賃貸事業運営の下支えになることが想定される。
- (4) 総資産ベースの LTV は、概ね 40%強の水準で安定的にコントロールされているなど、財務の健全性は確保されている。また、本投資法人では、各期の払戻対象口数を原則として発行済投資口数の一定割合に制限することで LTV が大幅に上昇するリスクを抑制しており、比較的流動性の高いアセットにより機動的な対応も可能と思われる。デット・ファイナンスでは、金利動向に注視しつつ、借入年限の調整や返済期限の分散化に配慮した調達が続けられている。総じて、足元の財務運営に特段の懸念はないものの、JCR では財務基盤の推移と LTV コントロールに注目していく。

（担当）秋山 高範・林 卓也

■格付対象

発行体：農中 JAML リート投資法人

【見通し変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	ポジティブ

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年7月16日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：秋山 高範
主任格付アナリスト：秋山 高範
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「J-REIT」（2017年7月3日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 農中 JAML リート投資法人
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル